
TESTAMENT ～西の勇者～

黒ぷりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

TESTAMENT ～西の勇者～

【Nコード】

N3406F

【作者名】

黒ぷりん

【あらすじ】

この物語は、此処とは違う世界での出来事である。この物語の舞台となる世界は、魔術や錬金術などの技法が栄え、戦乱や凶暴な魔獣などに脅かされ、東西南北それぞれの大陸に秘宝が眠る……まるでRPGの世界がそのまま現実になったような世界である。そんな世界の西の果てに、お馬鹿な高校生が召喚された……

始：プロローグ

ありのまま起こった事を話すぜ！

俺は異世界に招かれた。

何を言っているのかわからねーと思うが、俺も唐突だったのだ。

そして今も境地に立たされている。
ぶっちゃけ俺様の武勇伝の始まりだったりして？

「ぬおおおおおおおおおおおおお！！！！」

走る、ひたすら走る。

草木を掻き分け、得体の知れない奇妙な物体を踏みつけ爆走する。
その走りはメロスを抜き、タマゴを割るくらいの気軽さで大木を
ブチ破る。

「おおおんぶるあああああ！！！！」

この走りに誰がついて来るのか？
はっはっは！断言する！二人居る！

「ちょっと！ 静かにしてくれない！？」

わかったよマイ・ハニー（脳内の）少し自重する。

「体力の無駄使いだぞ？」

はっ 俺様はこの世界では能力アップしているのだ！
貴様ら凡人と比べては困るなあ！

「はっはっは大丈夫！俺はこの世界で変わったああああ！」

「うざっ！」

「だから無駄使いだつて」

ハニー、それは無いぜ？

すこしブルーな気持ちだが確かにそうだ、今はそれどころではなかった。

「で、どうやって倒すよアレ？」

俺は左右を走る同じ境遇の二人に問いかける。
後ろからはドラム缶を巨大化した物体が猛スピードで追っかけてくる。

付け加えるならコレは試験対象なんだつて。
倒さないと死ぬんだつて！

「私達の戦闘力の平均がアレってなんか嘘っぱいんですけど？」

たしかにそうだ、ハニーの言うとおり。

俺ら普通の学生さんだぜ？

1人はよくわからないけど。

「誰か異様に強いんじゃないのか？」

「さすが俺！」

「アンタは違うでしょ……」

鋭いツツコミありがとう！

でもたぶん俺が一番強いんだっ！

「ちよっ！何してんの！？」

ハニーが驚くのも無理は無い、俺は急ブレーキをかけドラム缶に
向き合った。

「さあ！かかってこいやああ！！」

「なんでオタクってあんな行動をとるんだろ？」

「オタク？」

「あんたオタクも知らないの？」

なんか後ろの二人が仲良く喋っているんですけど？
だがな俺様が主人公なんだ！ヒロインは俺のもの！

「いくぜ！」

俺は拳を振り上げ突進した。

……それは異世界での出来事、

魔王が復活し、

戦火が広がり世界は恐怖に包まれる。

それに立ち向かうのは、

異世界から招かれた三人の若者たち。

「貴様は俺が倒す！」

1人は今まさにドラム缶に突進し、

「バカじゃないの？」

1人はその行動に呆れ、

「まったく」

1人は助ける為に駆け出す。

『TESTAMENT 西の勇者』

その物語、西の国から始動する……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3406f/>

TESTAMENT ～西の勇者～

2010年10月21日22時47分発行